



東北芸術工科大学 文芸学科の 教員・学生が総力を結集した 文芸誌『文芸ラジオ 12号』発売!

東北芸術工科大学の学生が主体となって編集・執筆し、1年に1回発行する文芸誌『文芸ラジオ』。

特集「悪役はもういない」では、『平和の国の島崎へ』原作者の濱田轟天さん、『救われてんじゃねえよ』で第21回「女による女のためのR-18文学賞」大賞を受賞した上村裕香さん、実写映画『ルックバック』監督の是枝裕和さんらのインタビューを掲載。

巻頭のGuest Talkには、『昭和元禄落語心中』のマンガ家・雲田はるこさんとUNISON SQUARE GARDENのミュージシャン田淵智也さんが登場します。

ほかにも、プロ作家や文芸学科学生による小説、マンガ、エッセイを収載。すべての作品が書き下ろしです。ぜひご一読いただきますよう、なにとぞ、よろしくお願いいたします。

【媒体概要】

文芸ラジオ 12号

A5判／288ページ／本文1C

編集：東北芸術工科大学 文芸学部 文芸学科

発行：京都芸術大学 東北芸術工科大学 出版局 藝術学舎

発売：株式会社メタ・プレーン

価格：1,100円(本体1,000円+税10%)

ISBN:978-4-910546-68-1

全国の主要書店・インターネット書店にて発売 年1回刊

【12号の主な内容】

Guest Talk 雲田はるこさん(『昭和元禄落語心中』・マンガ家)
田淵智也さん(UNISON SQUARE GARDEN)

第1特集 「悪役はもういない」

現代の物語作品では、勧善懲悪のストーリーが大幅に減少し、むしろ敵対するキャラクターが好まれる傾向があります。ストーリー上では悪役であっても、バックボーンが描かれることで、読者は悪役として認識できなくなっているのです。こうした社会背景について、創作物と若者の現実認識の両面から考察していきます。

インタビューでは、マンガ家の濱田轟天さん、作家の上村裕香さん、映画監督の是枝裕和さん、哲学者・倫理学者の戸谷洋志さんにお話をうかがいました。悪役タイプ別作品紹介や「悪度」アンケート、大学生から見た20世紀の悪役など、記事も充実!

第2特集 「さばみそ美味しいです」

物価高が騒がれる時代でも、「美味しい料理が食べたい!」という気持ちが伝わってくるような、食にまつわるエッセイ。

いしいしんじさん(作家)／千早茜さん(作家)／浅井音楽さん(作家・臨床心理士)／印度カリー子さん(スパイス料理研究家兼タレント)／アフロさん(ミュージシャン・俳優)／ランジャタイ伊藤幸司さん(お笑い芸人)／咲川ひなのさん(声優)

☆小説

小説は、野村美月さん、恒川光太郎さん、青柳碧人さん、駄犬さん、市街地ギャオさん、助六稲荷さんの書き下ろし短編を掲載! 芸工大学生の小説、マンガ、エッセイも収載。

読者プレゼント・書評等への 掲載をご検討ください

『文芸ラジオ』発売の情報をご紹介いただけませんか? 献本・読者プレゼントなど、ご対応させていただきますので、下記までお気軽にご連絡ください。

【お問い合わせ】

〒990-9530 山形県山形市上桜田3-4-5
東北芸術工科大学 文芸準備室
TEL 023-627-2010 FAX 023-627-2081
E-mail bungeiradio@gmail.com